

## 防災訓練計画書(案)

課名・対策名 健康支援課 医療救護対策

訓練日 9月11日(日)

参加予定人数(職員)	参加氏名	災害医療本部員・応急救護所要員(市職員)、習志野市医師会、習志野市歯科医師会、習志野市薬剤師会、習志野市アマチュア無線非常時通信連絡会の各会員
------------	------	---

訓練会場	災害医療本部(GF広場) 各応急救護所(保健会館・中学校3か所)
------	-------------------------------------

目的	各応急救護所における設置・運営訓練および災害医療本部、各応急救護所間の無線を使った情報伝達訓練を実施し、各場所・各自の役割や課題の共有を図ることを目的とする。
----	---

到達目標	<p>①救護所設営手順(場所・位置)や物品の扱い方(発電機・ライト・無線)が役割に関係なく設営できる</p> <p>②校舎の建て替えや感染予防等を踏まえ、救護所会場のレイアウトを見直し作成する。</p> <p>③トリアージ訓練の症例を通じて、傷病者受け入れ後の一連の流れを確認する。</p> <p>④医療本部は応急救護所等からの情報を整理し、関係機関等への連絡・調整を行う。</p>
------	---

訓練想定	令和4年9月11(日)午前9時00分に習志野市直下を震源とするM7.3の地震が発生し、習志野市では震度6強を観測
------	--

時間	災害対策本部(事務局)タイムスケジュール	訓練項目	訓練担当	訓練内容	使用する資器材等(物資含む)	
					名称	使用数
前日までに			各自	災害時に備えて、市担当者及び関係団体が各自の配置先を把握し、必要物品の準備。		
8:30			市職員	健康支援課集合。事前申し合せ事項確認し、各救護所へ出発。		
9:00	地震発生	参集訓練	各自	習志野市直下を震源とするM7.3の地震が発生し、習志野市では震度6強を観測。(各自1分間シェイクアウト)		
9:10	参集			現地集合(9:10に参集完了するよう集合)		
9:10 ~ 10:30	情報収集・集計業務	災害医療本部設置・応急救護所設置訓練	災害医療本部担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員及び関係機関の参集状況を把握。</li> <li>自動参集後、災害医療本部担当職員、担当スタッフとともに、直ちに災害医療本部設置準備。</li> <li>健康支援課脇倉庫から必要物品を医療本部に運ぶ。</li> <li>無線の設営を優先し、並行して各役割分担を決定。</li> <li>災害医療本部設置。</li> <li>応急救護所の設置状況、病院の被災状況を情報収集。</li> <li>※10時を目安に災害医療コーディネーターの白石医師は2中応急救護所見学へ向かう</li> </ul>	無線機器 ホワイトボード どこでもシート 市内地図 ヘルメット 防災ベスト 医療本部消耗品 ボックス	一式 4 1 2 人数分
			応急救護所担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員及び関係機関の参集状況を確認。</li> <li>自動参集後、各応急救護所担当職員・担当スタッフとともに、直ちに各応急救護所設置準備。</li> <li>防災倉庫の鍵位置を全員で確認し、倉庫・保健室から必要物品を応急救護所に運ぶ。</li> <li>停電のため発電機を起動し、バルーンライトを点灯。</li> <li>無線の設営を優先し、並行して各役割分担を決定。</li> <li>参集状況を医療本部へ報告。</li> <li>災害物品・医薬材料備蓄品の確認。</li> <li>応急救護所設置。会場変更点と感染予防を踏まえたレイアウトを再検討し作成。(写真等で記録)</li> </ul>	無線機器 発電機 カセットボンベ バルーンライト ホワイトボード 机、椅子 どこでもシート 救護所医薬品・消耗品ボックス ヘルメット 防災ベスト	一式 4本 各種 人数分
10:30 ~ 11:30	地区対策支部・避難所との情報連絡連携	無線訓練・トリアージ訓練	アマチュア災害医療本部無線医療非常時通信連絡所連絡会	災害医療本部、各応急救護所(市内4ヶ所)の合計5ヶ所にて仮想のミッションを付与。	情報記録票 傷病者一覧 依頼リスト 災害時診療録	
①アマチュア無線を使用し、応急救護所の状況報告(ライフラインや周辺状況)、傷病者の受け入れ等を災害医療本部へ情報伝達訓練を実施する。						
				②医療本部は設営次第、下記仮想ミッションに対応。 <ul style="list-style-type: none"> <li>傷病者搬送手段の確保(救急車・自衛隊・Drヘリ)</li> <li>医薬品・衛生材料の確保(酸素・水・医薬品)</li> <li>医療スタッフの人員要望(医師・薬剤師・看護師)</li> <li>受援者受け入れ(DMAT、医療チーム)</li> </ul> また、応急救護所の設営が整い次第、①②の情報を整理し、関係機関への調整を行う。		
				③応急救護所では、トリアージ訓練及び応急救護処置訓練を実施。症例を通して、無線を使用し、医療本部へ傷病者の受け入れや搬送準備等伝達訓練等傷病者受け入れ後の流れを確認する。 ※2中は災害医療コーディネーターの白石医師が見学。反省会にて、上記訓練や会場レイアウトについて助言をいただく。		
11:30 ~ 12:00	撤収作業			撤収作業 反省会 解散	反省会記録用紙	